

計画の名称	防災に強いまちづくりの推進(防災・安全)													
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	境町													
計画の目標	境町地域防災計画で避難所としている町内の小中学校周辺において、災害時における避難の円滑化を図るために避難路を整備するとともに、子どもの安全対策を通学路等で実施することにより防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる。 また、緊急避難場所となる街区公園等やその他の公園・緑地、広場の防災空間については平時における子どもの遊び場でもある為、安全対策を行う。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		204	A	164	B	0	C	40	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	19.6	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	防災機能強化の推進及び住民の防災意識向上を図り、安全に避難できる人口を増加させる。 避難所周辺の通学路を拡幅することにより、歩行の安全性が図られ、安全に避難できることとなった小学校の児童数	50人	94人	155人
2	関係機関や自主防災組織との協調体制の更なる強化や防災意識を高めるため、各行政区毎の防災訓練の実施を増加させる。 防災訓練の実施地区数	4地区	7地区	10地区

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	境町	直接	境町	-	-	地区公共施設等整備(境第一中学校、境小、長田小、静小、猿島小、森戸小学校地区)	道路拡幅整備 12路線 水路整備 1箇所 排水路整備 1箇所	境町	■	■	■	■	■	164		-
											小計						164		
											合計						164		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	境町	直接	境町	-	-	避難路監視カメラ整備(境小、長田小、猿島小、森戸小、静小学校地区)	避難路監視カメラ整備 N=19基	境町		■	■			5	-	
		避難路監視カメラを設置することにより、豪雨災害等の状況を把握し迅速な避難を促す。また、基幹事業道路整備を実施することにより、地区全体の地域防災向上を図る。																	
	C13-002	都市防災	一般	境町	直接	境町	-	-	避難路照明灯整備(長田小、猿島小、森戸小、静小学校地区)	避難路照明灯整備 N=80基	境町		■	■			3	-	
		避難路照明灯を整備することにより、災害時の避難路として安全確保に寄与する。また、基幹事業の道路整備を実施することにより、地区全体の地域防災向上を図る。																	
	C13-003	都市防災	一般	境町	直接	境町	-	-	避難路グリーンベルト整備(境第一中、境小、静小学校地区)	避難路グリーンベルト整備 L=2,380m	境町		■	■	■	■	10	-	
		学校周辺の避難路にグリーンベルトを設置することにより、歩行スペースを確保し安全を図る。																	
	C13-004	都市防災	一般	境町	直接	境町	-	-	遊具更新整備(境小、猿島小、静小、長田小学校地区)	公園遊具更新整備 5箇所(伏木児童、さくらの森、塚崎1区、桜が丘、はなのき公園)	境町		■	■	■		22	-	
		災害時における避難地の確保として、緊急避難場所となる街区公園等やその他の公園・緑地、広場等の老朽化した遊具を更新することで、子どもの遊び場及び防災空間としての安全性を確保する。																	
												小計						40	
										合計							40		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

境町において事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和6年7月

公表の方法

境町ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

幅員が狭い通学路の拡幅整備を実施したことにより、安全に通学、避難できる児童を増加させることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

本整備計画で未完了であった事業箇所について、引き続き2期計画において整備を進めていく。また、新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴い、令和5年度からは全行政区を対象とした防災講演会及び防災訓練を実施しており、今後もハード面とソフト面の両方を考慮した事業に取り組むことで防災性の向上に努めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	155人	事業予定箇所の用地補償が遅延し事業期間内に完了できなかったため目標を達成できなかった。
	最 終 実績値	110人	
2			
	最 終 目標値	10地区	令和元年度は台風、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の蔓延防止で実施を中止したため目標を達成できなかった。
	最 終 実績値	4地区	